

【日時】 2007年3月3日(土)～4日(日)

【メンバー】 L/木下、石井、田辺(利)、中村

先月の3連休で初めて平湯周辺に入り、(今年にしては)雪の多さに満足。前回の宿題であった猫岳と四ッ岳に泊まりで挑んだ。

### 【猫岳】

平湯キャンプ場から入山する。3月ともなれば、さすがにカチカチの雪だ。1504mの台地までの沢型は、固すぎの雪面に戸惑う。台地からは、先月の金山岩でお世話になった平湯スキー場の全景が見える。その時はここより上までリフトで行ったのだから、今回はずいぶん下から歩き出したのだ。考えてみれば、このコースは1400mを越える標高差だ。1泊2日だからのんびり行けばよい。

もう1つ奥の台地状から少し下り、沢を渡る。何とか1箇所ブリッジが掛かっている程度で、あと1週間くらいしかもたなさそう。沢を渡り台地に乗ると、緩・急の斜面が繰り返し出てきて、1960mの台地に到着。ここにテントを張り、午後は猫岳に行くことにする。

やや右寄りにルートを取りながら、猫岳を目指す。2300mまでくると、真っ白な猫岳が見えてくる(写真)。ここまではあつという間であったが、ここからが意外と長かった。猫と四ッ岳の間には谷あるので、結局鞍部までぐるり回った。山頂まであと100mを切ったというところで霧が発生し、リーダーの判断で引き返すことに。前回に引き

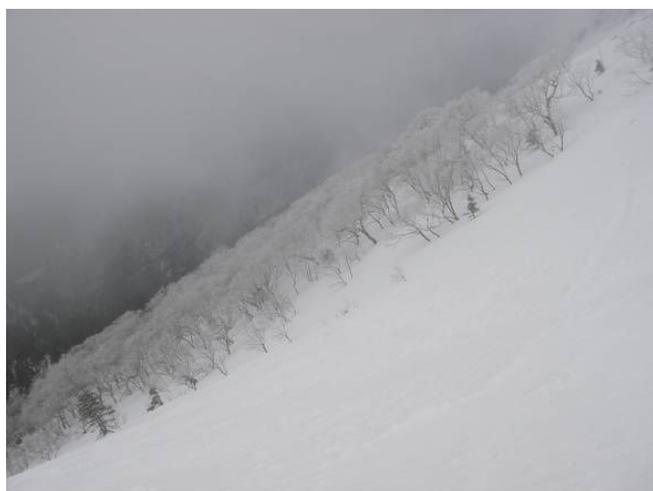


き続き山頂目前で撤退。猫には縁がないようだ。

### 【四ッ岳】

翌朝、2300mまで昨日のトレースを登り。そこから北面の沢型をジグザグに登る。この沢型は、北面・適度な斜度・広いと三拍子そろった好ルートである。

沢型が終わる2550mくらいで、霧・風が強く、これ以上行くのは危険という

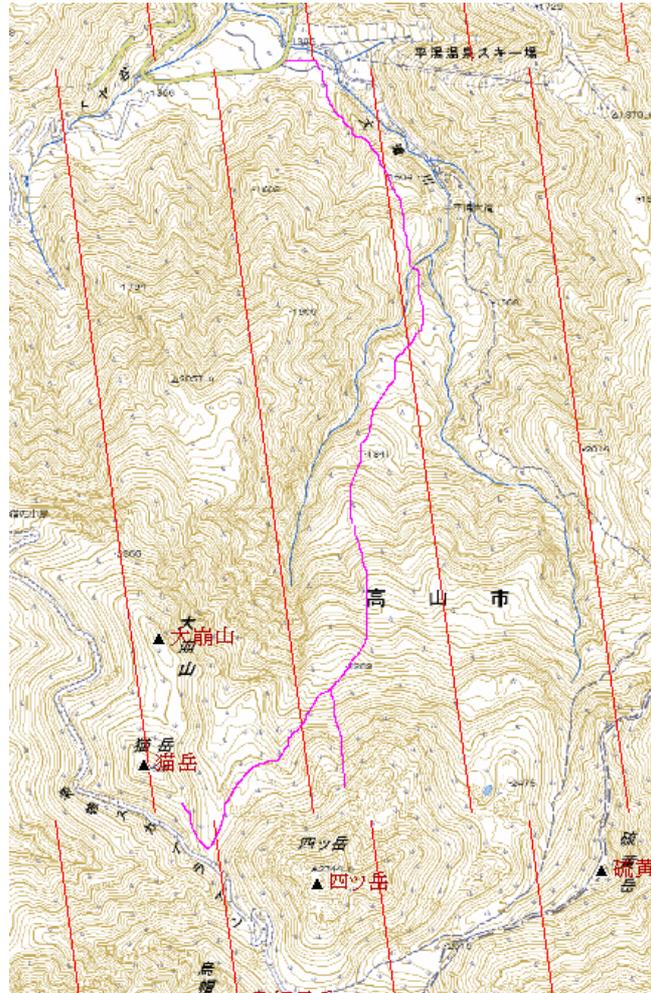


ことで、ここで引き返す。先ほどの好ルートはすでに食われてしまっているので、沢の横の樹林のなかを滑ることに(写真)。少し重いがまずまずのパウダー。そこから先は、昨日と同じルートを滑りテン場に到着。

大休止の後、テントを背負って滑り出す。そういえば今シーズン泊まりの荷物を背負って、滑るのは初めてだ。思うように滑れない。最後の沢型は、あまりに雪が悪いので、板を外して歩いておりた。下山後はもちろん平湯の森の湯にお世話になる。

ところで、今回は3月ということまで板をザラメ用の細め(といってもセンチで70mm)の板を持ってきた。雪が悪いのもあるが、それにしても滑りにくい。足の前後差が開きすぎて、ターンしている間に板がクロスしてしまうのだ。いろいろ考えたのだが、ビンディングを昔のもの(リーバZ=伸びバネ式)を(再利用して)使っているからではないかと考えた。確かに、滑りがそのビンディングを使っていた昔に戻っている気がする。

この山行から帰ってきて、すぐに押しバネ式(G3タルガ)に変えた。その後の山行では、足の開きすぎが抑えられ快適に滑れるようになった。「テレマークはビンディング次第」なのかもしれない。私のテレマーク技術が上達したのは、実はビンディングの性能が上がっただけなのかもしれない。伸びバネ式ビンディングを使っているG党の方、一度ビンディングを変えてみてはいかが？



### 【行程】

3/3: 平湯キャンプ場(9:00)～1960mテン場(12:24/1:17)～猫岳2500m引き返し地点(3:32)～テン場(4:30)

3/4: テン場(7:27)～四ッ岳2550m引き返し地点(9:56/10:29)～テン場(11:23/12:32)～平湯キャンプ場(1:21)

【地図】 焼岳・乗鞍